



三菱ガス化学株式会社

2008年9月8日

新規健康食品素材「補酵素 PQQ」の展開について

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：酒井和夫、以下「MGC」という）は補酵素ピロロキノリンキノン（以下「PQQ」）の新規健康食品素材としての届出を FDA（アメリカ食品医薬品局）に提出しておりましたが、この度、2008年8月15日付けで正式に受理されました。これを受けて、MGCはPQQの事業化に向け、まずはアメリカ国内で健康食品素材としての市場開拓を開始します。

PQQは酸化還元酵素の補酵素の一つであり、2003年に理化学研究所によって、50年ぶりに発見された14番目のビタミンである可能性が報告されています。MGCはPQQの製造技術を持つ世界で唯一のメーカーであり、研究用試薬として広く販売する一方で、国内外の大学や研究機関と共同でPQQの生理作用について研究を行って参りましたが、PQQのビタミン作用が報告されたのを受け、新規の健康食品素材としての開発を進めておりました。

PQQには神経保護作用、神経成長因子の増強作用、抗酸化作用が見出されておりますが、最近の研究により、ラット試験やヒト試験において記憶能力や識別能力の向上など脳機能改善が確認されております。さらには、コエンザイム Q10 と併用することで PQQ のこれらの作用が増強されることも確認されております。このように、PQQ はこれまででない新しいタイプのブレインフードとして期待されます。

MGCはコエンザイム Q10 のメーカーであります。新たに PQQ をラインアップに加えることで、健康食品素材事業の拡大を図り、ライフサイエンス分野の積極展開を進めます。

<本件に関するお問合せ>

広報IR部 興石

TEL. 03-3283-5041

【用語説明】

PQQ：酸化還元酵素の補酵素の一つとして1979年に発見された水溶性キノン化合物。パセリやピーマンなどの野菜や納豆、緑茶、ウーロン茶などに含まれるほか、ヒト体内にも存在し、特にヒト母乳中に多く含まれる。2003年4月に理化学研究所からPQQが14番目のビタミンとなる可能性が報告されている。



PQQ 粉末

FDA：米国食品医薬品局（US Food and Drug Administration）は食品、医薬、化粧品などを監督する米国官庁。該当する製品を米国内で販売する場合、製造、規格、表示などFDAが施行する数々の規則に適合する必要がある。

補酵素：酵素の働きを助ける物質

ビタミン：微量ではあるが、体内の生理作用を円滑に行うのに必須かつ体内で合成することができない有機化合物群。（ただし、例外的に極微量ながら体内で生成できるものもある。）

識別能力：対象の質的、量的な違いを認識する能力。

ブレインフード：脳に健康と若さをもたらすもので、脳の活性化のほか、認知症の予防にも役立つと言われている。代表的なものに、EPA、DHA、イチョウ葉エキス、などがある。